



新型コロナウイルスの発生状況について(続報)

3月に「新型コロナウイルス関連対策」について質疑を行った際には、まだ2名だけだった市内の感染者ですが、4月8日(水)に市内の高齢者施設において集団感染(クラスター)が発生したのを皮切りに、複数の高齢者施設と医療機関において同様の感染事例が発生し、市内の感染者累計は計103名に達しました。これは札幌市の発生件数1,091件のおよそ1割に当たる数値で、全国でも突出して高い感染率です。

◎千歳市内における新型コロナウイルスの感染者数(2020年5月末日現在)

2月	3月	4月	5月	感染者累計
2名	0名	80名	21名	103名

千歳市一般会計補正予算案(第2回)に関する質疑

去る4月24日(金)に市議会の臨時会が開かれました。この際の補正予算の概要については後述しますが、この中に喫緊の課題である「感染予防に関する対策予算」の計上がされていなかったことから、私は、①マスク、アルコール消毒液等の物品購入などを含む感染予防対策予算を計上しないのか ②経済的困窮などにより、給食費の給付を受けている準用保護世帯に対して、休校中に支給停止となっている給食費相当額の給付金を支給できないかの2点について質問しました。理事者答弁では、①補正予算で感染予防対策費を計上する予定はない。②支給停止としている給食費相当額の準用保護世帯への給付については、今後の推移によって必要と認められれば改めて検討するとのことでした。

この感染症対策に関する責務が北海道にあるとしても、千歳市としてサポートできることはいくらでもあり、行政の枠にこだわっている場合ではないと考えます。また、準用保護世帯に対する給食費は、元々補助するために予算建てしていたものを、給食がストップしたことでプールしてあるものです。自宅待機中は家庭で昼食を取らなければならないわけで、わずかでも食費の足しになるのではないのでしょうか。

3月の予算特別委員会で私が質疑したときの状況とは明らかに違う局面に入ってきており、「子育てするなら、千歳市」と宣言するからには、子どもたちの生活や健康も守り切るといふ、一段も二段も高いメッセージと強いアクションを山口市長にはお願いしたいところです。

市長に要望書を提出しました

新型コロナウイルス感染者の急増を受けて、5月14日(木)に私の所属する会派「ちとせの未来を創る会」から、市長に対して「市民の安心安全な生活を守るため、各議員のもとに個別に寄せられた市民意見の中から、特に急いで対応願いたい4項目を抜粋して要望書に盛り込みました。

1. 医療、介護の崩壊を防ぐために広域連携協定を周辺自治体と早期に結ぶこと、および市内病院において発熱外来の開設を進めること
2. 休校中の小中学生の学習支援と罹患家庭の子どもの保育環境を整えること
3. 新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯および一人暮らしの学生に対する経済支援策を図ること
4. 感染に関する情報を迅速に市民に伝えられるよう、あらゆる媒体を利用して発信すること

我々の要望に対して、山口市長、横田副市長ほか担当各部長も同席のうえ、要望の主旨、またその内容に対する

市の考え方を回答いただき、約 45 分間にわたって意見交換をさせていただきました。

1 点目、周辺自治体との広域連携協定を結ぶ考えは無いが、協力体制については連携手法について研究したい。発熱外来については、市内の緑町診療所に設置する方針であり、国と医師会の協議をベースとして PCR センターの設置を検討する。2 点目、小中学生についての学習支援については、各校での対応の他、千歳科学技術大学が提供する e-ラーニングの活用などで補完している。コロナウイルス罹患世帯の乳幼児保育に関しては、他に面倒を見る親族がない場合、児童相談所等々との協議をもとに、入院、療養等の保護措置を講じる予定。3 点目、収入が減少した世帯やひとり暮らしの学生に対する支援については、各種の生活相談や市税・国保料等の延納相談に応じるほか、市内に居住する一人暮らしの大学生約 370 名に対する収入状況の調査や支援の検討を進める。4 点目、情報伝達の迅速化については、道からの情報に頼る部分が多く、市独自でできる範囲は限られるが、SNS 等の媒体も含めて多チャンネルでの情報提供に努めたい。以上の回答でした。

新型コロナウイルス関連の補正予算が組まれる

第 1 定例会最終日の 3 月 25 日(水)の令和 2 年度当初予算成立後、直ちに一般会計補正予算(第 1 回)が提案され、中小企業振興資金の原資預託金 5 億円を含む、583,558 千円の補正予算が可決されました。

さらに、4 月 24 日(金)に開かれた臨時議会において提案された一般会計補正予算(第 2 回)では、国の施策である「特別定額給付金」や「子育て世帯への臨時特別給付金支給事業費」のほか、市の独自施策である「緊急雇用創出事業費(1,709 万 8 千円)や「中小企業対策支援事業費(11 億 6,711 万 5 千円)など、127 億 2,155 万 9 千円に及ぶ大型補正予算が組まれました。第 2 定例会会期中の 6 月 5 日(金)に行われた補正予算特別委員会においては、一般会計補正予算(第 3 回)が提案され、「新型コロナウイルス感染症入院受入医療機関助成事業費(5,000 万円)」やちとせ市民応援商品券発行事業費(5 億 7,839 万 7 千円)などのほか、高齢者施設や障がい者施設に対する感染症予防衛生用品購入助成事業費や同感染症予防対策推進事業費(計 1,836 万円)、「生活困窮者自立支援事業費(3,024 万円)など、総額 12 億 4,474 万 5 千円が計上され、さらに 8 日(月)に追加提案された一般会計補正予算(第 4 回)では、国の支給対象から漏れた新生児子育て世帯を救済する「新生児子育て支援臨時特別給付金支援事業費(8,386 万 8 千円)や小中学校に対する ICT 機器等整備事業費(計 2 億 8,891 万 1 千円)など、計 11 億 4,191 万 2 千円」が計上されました。

前述の臨時議会や会派からの要望書において要求した生活弱者救済や新型コロナウイルス感染予防策に関する予算がようやく第 3 回以降の補正予算に盛り込まれましたが、私が求めた準用保護世帯に対する給食費の支給は残念ながらここでも計上されませんでした。今後も経済の復調傾向をにらみながら、粘り強く市民生活の救済を訴えて参ります。

市政や議会に関するあなたの疑問やお困りごとを是非北山けいたにお聞かせください。



メール: mail@kitayama-keita.com

ホームページ: <http://kitayama-keita.com>



私、「北山けいた」は、「公正・公平」な社会と、お子様からお年寄りまですべての世代が笑顔で生活できる環境の形成を目指しています。皆さまの市政に対する素朴な疑問をご遠慮なくお寄せください。また、市民参加型の市政運営を目指して、様々な市民活動も積極的に支援しております。

お問い合わせは上記のメールからお願い致します。

ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。

